

## 黒川の自然観察会のみどころ

### 春の黒川の生き物

横山謙二



アオバセセリ



トラフシジミ



スジグロシロチョウ



アサヒナカワトンボ



クロサナエ



ヒメサナエ



カジカガエル



ヒメネズミ

5月14日の「黒川の自然観察会」を行う興津川の支流黒川流域にはたくさんの生き物を観察することができます。ここで、私が春に興津川・黒川で観察した生き物を紹介します。

#### 《昆虫》

観察会が行われる5月頃、ノアザミの花にジャコウアゲハやカラスアゲハなどのアゲハチョウ科のチョウが多く集まります。昨年の5月4日には、ジャコウアゲハの雌雄型（会報73号表紙）が観察できました。また、この時期から見られるアオバセセリ（5-8月）やトラフシジミ（4-8月）、スジグロシロチョウ（4-10月）などのチョウもいます。

トンボは、河川に近いところでカワトンボ科のアサヒナカワトンボ（4-9月）、ミヤマカワトンボ（5-9月）、サナエトンボ科のダビドサナエ（4-7月）、クロサナエ（5-7月）など

のトンボがでてきます。3月末から4月初旬であれば、ムカシトンボの羽化が見れたことがあります（会報69号表紙）。

その他、イタドリハムシやイチモンジカメノコハムシ、コアオハナムグリなどの甲虫の仲間もさまざま見ることができます。

#### 《その他生物》

昆虫も見どころ満載ですが、黒川の上流側に行くと、川辺の石の上にはカジカガエルがいることがあります。去年は少なかったのですが、さて今年も見られるでしょうか。

哺乳類は、カモシカやニホンジカ、サルがたまに見られることがあります。去年は、かわいいヒメネズミを見ることができました。

まだまだ、紹介したい生き物が沢山あるのですが、このへんで。5月14日の「黒川の観察会」では、どんな生き物が観察できるでしょうか。お楽しみに！